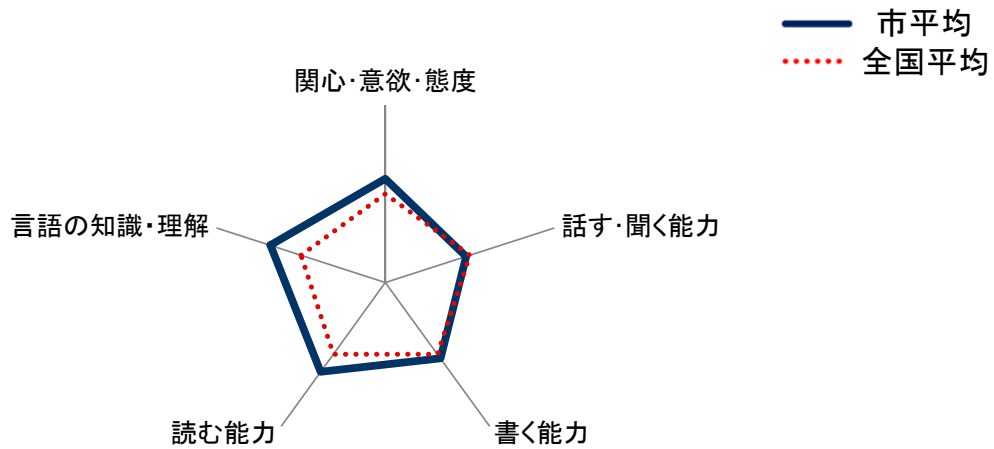


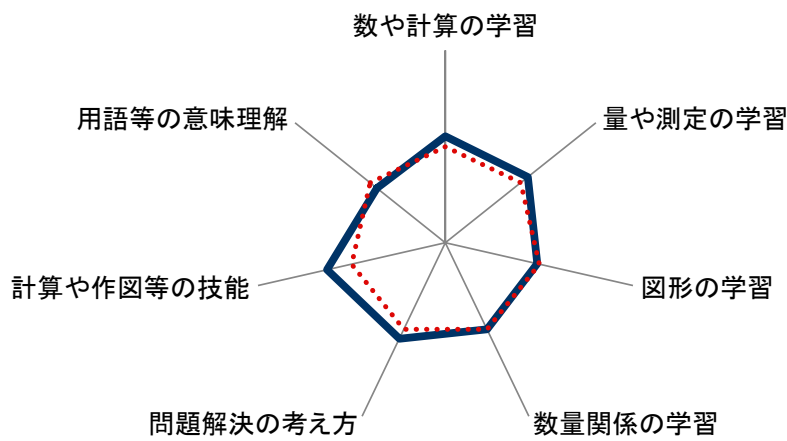
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

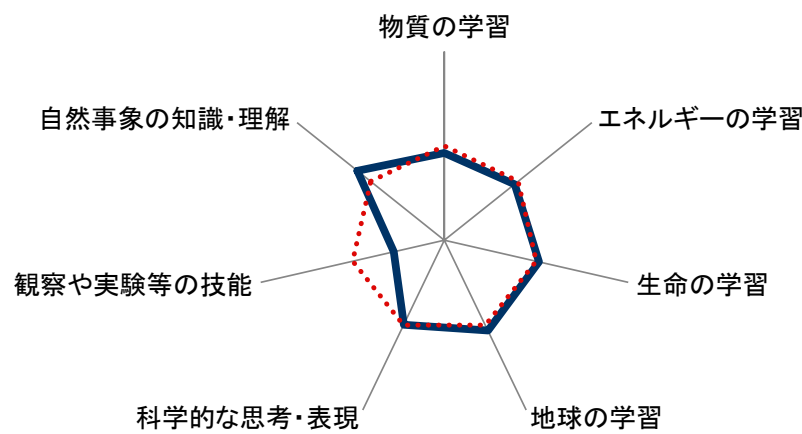
【国語】



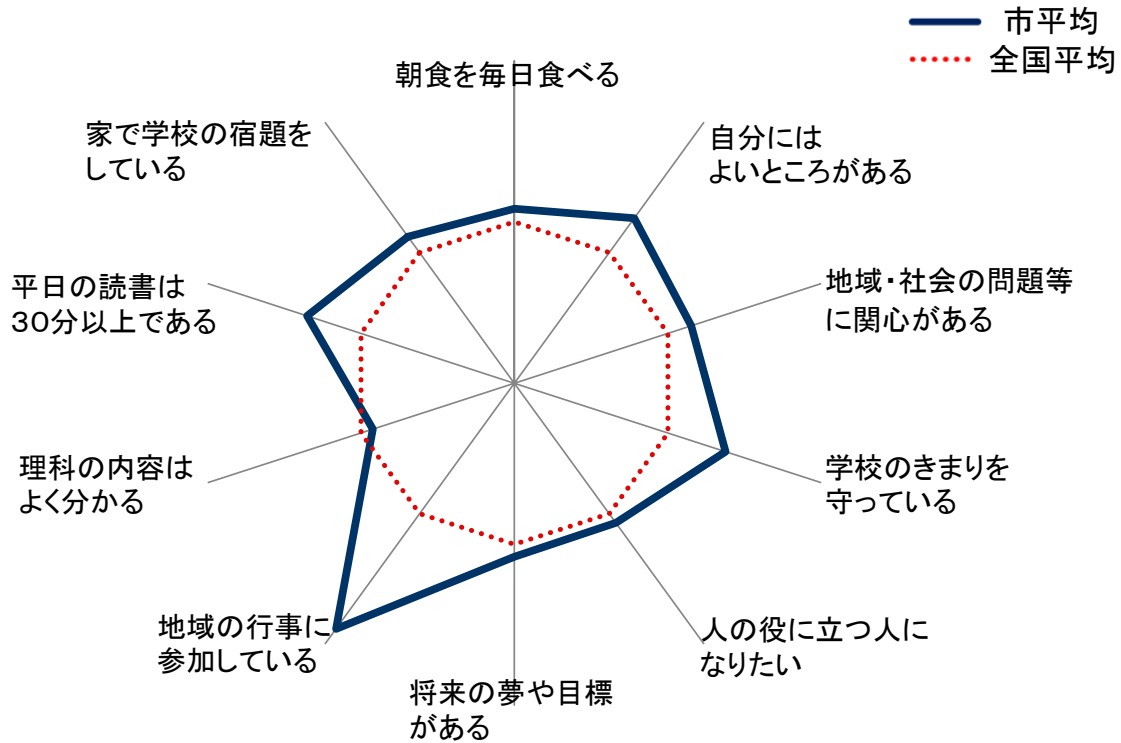
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「言語の知識・理解」や「読む能力」、算数は「計算や作図等の技能」、理科では「自然事象の知識・理解」の各項目が全国平均を大きく上回っている。各教科のA、B区分別の平均正答率全てが全国平均を上回っているにも関わらず、全国平均を下回っている観点別の項目があるので、今後、更なる学力の向上と定着に向けて、各教科において知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組を推進する。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っており、特に「地域の行事に参加している」の項目は全国平均を大きく上回っている。また、昨年に比べ読書時間についての改善も見られるとともに、自尊感情や基本的な生活習慣についても結果は良好である。教科に関する調査における理科の「観察や実験等の技能」の項目が全国平均を大きく下回っていることと、質問紙調査における「理科の内容はよく分かる」の項目が若干下回っていることの要因を分析して、その対策を講じるとともに、各教科においても児童主体の「楽しい授業、分かる授業」が行われるよう更なる授業改善に取り組む。